

授業になった「むさしの IPE」

看護学部：山本摂子 梶原綾 長沼幸司

社会福祉学科：小俣智子 稗田里香

言語聴覚養成課程：嶋田真理子 畠山恵

薬学部：高尾良洋 益戸智香子

長谷川病院 後藤優子

湘南藤沢徳洲会病院 三觜久美子

「むさしの IPE*」は、本学医療福祉系学科学生が専門職連携を学ぶことを目的に、社会福祉学科、薬学科、言語聴覚士養成課程、看護学科の教員が学科を横断して2016年から月1回のミーティング、年2回のイベント開催、建学科目担当をしてきました。

令和4年度からは、看護学科選択科目として「むさしの IPE（医療福祉専門教育と社会の連携教育）」が開講されました。これは、武蔵野大学で初めて学科横断で行う IPE 科目であり、画期的な試みとなりました。本通信では授業内容と成果、次年度に向けた発展についてお伝えいたします。

授業は夏季集中2日間にて実施しました。医療・福祉系学科は2キャンパスに分かれているため、8月25日（木）は武蔵野キャンパスにて薬学・言語聴覚・社会福祉の専門職体験を実施、26日（金）は有明キャンパスにて看護専門職体験、および4学科学生の混合グループで、学びの共有とディス

カッションを行いました。学生たちは専攻以外の3つの専門職体験を緊張しながらも興味深く体験でき、4学科学生とのディスカッションでは、新たな体験が多職種への理解のみならず、自学科での学びへの動機づけになっていました。また、保健医療福祉はそれぞれの専門職としての活動は勿論、専門職が連携・協働した実践が、対象となる人々の QOL の向上やしあわせにつながることも想起できていました。

令和5年度からは、看護学部・薬学部との共同開講となり、社会福祉学科学生の履修も可能になります。大学卒業後の教育となる言語聴覚士養成課程学生は、引き続きオブザーバーとしての参加となります。

教員、学生、保健医療福祉専門職とそれらを受ける人々のしあわせにつながる拡張的意義をもつ「むさしの IPE」の活動に今後ご注目ください。

* IPE : Interprofessional Education（保健医療福祉専門職連携教育）



むさしの IPE 授業風景

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University

Musashino University Creating Happiness Incubation

武蔵野大学しあわせ研究所

東京都江東区有明3-3-3

電話：03-5530-7730

メール：mhi@musashino-u.ac.jp